

平成 28 年 8 月 17 日
株式会社日本政策金融公庫

**高校生向けビジネスプランの「出張授業」、前回を上回る 192 校が申込
～第 4 回 「創造力、無限大∞ 高校生ビジネスプラン・グランプリ」応募受付中～**

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）は、7月1日（金）より第4回「創造力、無限大∞ 高校生ビジネスプラン・グランプリ」の応募受付を開始していますが、これに先立ち4月から、希望する全国の高校に公庫職員が訪問し、ビジネスプラン作成をサポートする「出張授業」を実施しています。

今回はすでに、北海道から沖縄まで全国192校の高校から出張授業の申込（7月末現在）をいただいております。出張授業の申込受付開始から4ヵ月で第3回実績（183校）上回りました。

出張授業では、ビジネスに馴染みのない高校生のために、「ビジネスアイデアの発想法」などを学ぶ入門編から、ビジネスプラン作成に必要な「収支計画」の作り方などを学ぶ実践編まで幅広く用意しており、各校のご要望に応じた対応を行っています。この出張授業の申込は、ビジネスプランシートの提出期限である10月まで受け付けています。

また、株式会社NTTドコモなどが推進する大規模公開オンライン講座（MOOC）提供サイト『gacco（ガッコ）』（<http://gacco.org/>）と連携し、無料で経営学の基礎が学べる講座「ビジネスプランをつくってみよう」を、6月7日（火）より開講しています。

日本公庫は、今後も創業融資で培ってきた経験・ノウハウを「起業教育」の現場で還元し、将来の日本を支える人材を育てるお手伝いをしてまいります。

【ビジネスプラン・グランプリの開催概要】


名称	第4回「創造力、無限大∞ 高校生ビジネスプラン・グランプリ」	
募集内容	若者ならではの自由な発想や創造力を活かした次のプラン ・人々の生活や世の中の仕組みをより良いものに変えるビジネスプラン ・地域の課題や環境問題などの社会的な課題を解決するビジネスプラン ※ ビジネスプランは、①商品・サービスの内容、②顧客（ターゲット）、③必要な経営資源、④収支計画から構成されます。	
応募資格	全国の高校（中等教育学校後期課程を含む）の生徒からなるグループまたは個人	
出張授業	希望する高校向けに出張授業を無料で実施し、プラン作成をサポート（4～10月）	
スケジュール	平成28年 9月16日（金） 10月12日（水） 12月上旬	エントリーシート提出期限 ビジネスプランシート提出期限 ファイナリスト10組決定
最終審査会・表彰式	（日程）	平成29年1月8日（日）
	（場所）	東京大学伊藤謝恩ホール（東京大学本郷キャンパス内）
	（表彰）	グランプリ、準グランプリ、審査員特別賞等を授与

【参考1】出張授業の申込高校数（地域別：7月末現在）


地域	高校数	地域	高校数
北海道	16	中国	18
東北	23	四国	7
関東甲信越	30	九州	13
北陸	6	沖縄	3
東海	21	合計	192
近畿	55		

【参考2】出張授業の実施例

《ビジネスアイデア発想の演習》

高校名	栃木県立宇都宮工業高等学校（栃木県宇都宮市）	
学校概要	創立90年を超える工業高校（第2回グランプリにて準ファイナリスト賞を獲得） 平成27年度にスーパープロフェッショナルスクールに指定	
参加生徒	普通科（1年生）の生徒320名	
内容	<ul style="list-style-type: none"> 「ビジネスとは何か?」といった前提知識を始め、実際にビジネスアイデアを考えていく際のポイント・発想法などを説明 事例を用いて、世の中のニーズを満たすアイデアが生まれるまでの流れを体感 	

《ビジネスプラン作成の実践的な講義》

高校名	相生学院高等学校明石校（兵庫県明石市）	
学校概要	通信制・単位制高等学校（キャンパスは国内外に26校あり）	
参加生徒	普通科（3年生）の生徒24名	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスアイデアをプランにどのように落としこんでいくか、事例を用いて説明 思い付いたアイデアが5年後にどの程度利益が出るのかなど、具体的な収支計画を作成 	

《学校のニーズに合わせた専門的な講義》

高校名	鹿児島県立奄美高等学校（鹿児島県名瀬市）	
学校概要	商業科・情報処理科・機械電気科・家政科・衛生看護科の併設校 来年の創設100周年を迎えるにあたり、地元企業と連携して商品を開発	
参加生徒	商業科・情報処理科（1～3年生）の生徒120名	
内容	<ul style="list-style-type: none"> 奄美の地域活性化を図るため、高校生ならではの視点で事前にビジネスプランを作成 同校の生徒が作ったプランを事例に、「強み・弱み」を分析し、ビジネスとして行ううえで、課題をどのように解決していくべきか、ケーススタディを実施 	